

【メールマガジン～近畿運輸局公共交通だより】

2018年9月10日配信（No. 60号）

本メールは、公共交通政策全般について皆様に広く関心を持って頂くため、国土交通省総合政策局公共交通政策部が作成した全国の情報に、近畿運輸局において主に近畿地方の情報を加えて編集し、情報発信するものです。

☆☆☆ご意見・情報がありましたら、以下までお寄せ下さい。☆☆☆

★★★ご意見や情報、メールアドレスの変更はこちらへ★★★

<mailto:kkt-kinki-kikakuka@ml.mlit.go.jp>

なお、本メールの配信停止を希望される方は、上記アドレスまで「配信停止」と記入のうえお知らせください。また、本メールは出典を明記のうえで、関係者の方々に回覧・転送していただいても結構です。

※関係団体の皆様におかれましては、関係交通事業者あてに転送くださると幸いです。

- 平成31年度予算概算要求についてご紹介します。
～持続可能な地域公共交通ネットワーク等の実現～
(総合政策局公共交通政策部交通支援課)
- のりたろう活動報告 「海の日 海上パレード@長崎港」、「こども霞ヶ関見学デー」
(九州運輸局長崎運輸支局、総合政策局公共交通政策部交通計画課)
- 被害者等の方々の気持ちに寄り添い、必要な支援を行うために
～「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催～ (近畿運輸局、神戸運輸監理部)
- バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナーを開催します
(近畿運輸局、神戸運輸監理部)
- 10月27日、28日に「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2018」が
開催されます。

<掲示板>

☆ 地域公共交通支援センターについて

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」について



平成31年度予算概算要求についてご紹介します。
～持続可能な地域公共交通ネットワーク等の実現～

(総合政策局 公共交通政策部 交通支援課)

平成31年度予算概算要求においては、「地域公共交通確保維持改善事業」について、交通政策基本計画(平成27年2月13日閣議決定)に掲げられた目標の達成に向けて、計画に基づく施策の着実な進捗を図ることとし、全国各地における地域の多様な関係者の連携による生活交通の確保・維持や快適で安全な公共交通の構築に向けた取組を効率的かつ効果的に支援していくこととしております。

具体的には、「持続可能な地域公共交通ネットワーク等の実現」を柱とし、

- ① 持続可能な地域公共交通網への再編や交通圏全体を見据えた先行的な取組等の支援
- ② 地域特性に応じた路線バス、離島航路等の生活交通の確保維持の支援
- ③ ノンステップバスの導入、内方線付点状ブロックの整備等のバリアフリー化の支援
- ④ 地域鉄道の安全性向上に資する設備の更新等の支援

などを要求しております。

こうした要求内容により、全体で約293億円の要求(対前年度比で約84億円の増額要求)となっております。

この他に、復興庁計上分として、東日本大震災の被災地におけるバス交通等の確保のため、約9億円を要求しています。

本制度の活用にご関心をお持ちの方は、最寄りの地方運輸局又は地方運輸支局までお尋ね下さい。



のりたろう活動報告

「海の日 海上パレード@長崎港」、「こども霞ヶ関見学デー」

(九州運輸局長崎運輸支局、総合政策局公共交通政策部交通計画課)

7月28日(土)、長崎港「海の日」協賛会(官民連携)主催による海上パレードが開催され、長崎港で活動する企業・官公庁等の様々な種類の船、全19隻が集まりました。パレードを観覧するための観覧クルーズも行われ、近隣市町の子供たちを中心に約320名の方々が旅客船「ぐらばあ」に招待され、船の中から海上パレードを楽しみました。

「ぐらばあ」には公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」も乗船し、ライフジャケット着用推進イメージキャラクターの「ウクゾウ君」や海上保安庁の「うみまる」、長崎県の「がんばくん」「らんばちゃん」と共に、子供たちと触れあいながらパレード船や展示放水などを観覧しました。

「のりたろう」は、長崎市長にもしっかりとご挨拶をし、子供たちには身にまとった船体やパンタグラフ、ハンドル、プロペラを見せながら、旅客船をはじめとした公共交通の利用促進をアピールしていました。



「のりたろう」と「うみまる」



乗船口でお出迎え

この観覧クルーズは、海の恩恵に感謝し、海洋国・日本の繁栄を願うものですが、各キャラクターの活躍により、長崎の海・港に、更に愛着を深めていただくことができました。

船上からは、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産のひとつである「大浦天主堂」や、明治日本の産業革命遺産の「小菅修船場跡」「ジャイアント・カンチレバークレーン」「旧グラバー住宅」なども眺めることができます。フェリーや路面電車、バスなどを利用して観光地を巡ることができますので、長崎へお越しの際は、是非「公共交通にのろう！」

8月1日(水)、2日(木)に、霞ヶ関の府省庁等で開催された「こども霞ヶ関見学デー」に「のりたろう」が登場しました。このイベントは、子ども達に霞ヶ関の府省庁等の業務説明や省内見学などを行うもので、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、あわせて府省庁等の施策に対する理解の増進を図ることを目的に毎年行っています。

国土交通省でも様々なブースが出展されている中で、のりたろうがチラシを配って公共交通の利用促進を呼びかけました。子ども達は、のりたろうの各パーツが何を表しているのかに興味津々で、のりたろうを通じて公共交通への関心を高めてもらえたのではないかと思います。



のりたろうをご紹介します

**被害者等の方々の気持ちに寄り添い、必要な支援を行うために
～「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催～
(近畿運輸局、神戸運輸監理部)**

近畿運輸局及び神戸運輸監理部は、公共交通事業者や関係団体、一般の方を対象に、被害者支援の重要性や役割を理解していただくことを目的として、公共交通事故被害者等支援フォーラムを開催します。全国各地からのご参加をお願いします。

■ 開催日時

平成 30 年 9 月 25 日 (火) 10:00～12:00

■ 場所

兵庫県民会館 9 階 けんみんホール (神戸市中央区下山手通 4-16-3)

■ 定員

300 名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

■ 参加費

無料

■ 主催

国土交通省神戸運輸監理部、近畿運輸局

<プログラム (概要) >

・ 講演「警察における被害者支援」

兵庫県警察本部 警務課 被害者支援室 兵庫県警部 東尾 浩二 氏

・ 報告「公共交通事故被害者等支援の現状」

近畿運輸局 交通政策部 消費者行政・情報課 課長 岡本 昇

・ 講演「いのちの授業」

日航ジャンボ機御巢鷹山墜落事故被災者家族の会

(8. 1 2 連絡会) 事務局長 美谷島 邦子 氏



美谷島 邦子 氏

参加方法など詳細は、神戸運輸監理部HPをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kobe/content/h30higaisyasien.pdf>

バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナーを開催します

(近畿運輸局、神戸運輸監理部)

平成30年3月末にバリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編及び車両等編）が改定されました。この度、交通事業者、行政担当者、研究者、一般の方々等を対象とした「バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー」を開催しますのでご案内いたします。全国各地からのご参加をお待ちしております。

■ 開催日時

平成30年9月25日（火）13:30～16:15

■ 場所

兵庫県民会館 9階 けんみんホール（神戸市中央区下山手通4-16-3）

■ 定員

300名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

■ 参加費

無料

■ 主催

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会事業委員会・関西支部
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

■ 共催

国土交通省神戸運輸監理部、近畿運輸局

<プログラム（概要）>

- ・ガイドラインの見直し概要
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- ・当事者からの期待と課題
アクセス関西 山名 勝 氏



ホームと隙間を軽減した例

ガイドラインは、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団HPに掲載されています。

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/guideline/guideline_top.html

参加方法など詳細は、本セミナーの案内（ちらし）をご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kobe/content/h30gaidorainsemina-.pdf>

10月27日、28日に

「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2018」が開催されます。

◆「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会」からのご案内です。◆

平成30年10月27日（土）、28日（日）に東洋大学白山キャンパス（東京都文京区）において、「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2018」が開催されます。

本フォーラムは、少子高齢化が進む中で、日常の通院や買い物等に困難を抱える人々のくらしの足の問題を解決するため、地域住民、行政職員、研究者、交通事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPO等の関係者が集まり本音で語り合う中で、それぞれが抱える問題解決のヒントを得て、サービス利用者の側にとって新しいモデルや考え方を見出す場として開催されるものです。

■ 開催日

平成30年10月27日（土）、28日（日）

■ 場所

東洋大学白山キャンパス（東京都文京区白山5-28-20）

■ 主催

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

■ 参加費

3,000円（1日・両日参加共）

■ 参加・ポスター発表の申込は、以下のWEBサイト上でお申し込み下さい。

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

<プログラム>

・10月27日（土）

12:30 開場・受付開始

13:30 趣旨・進行説明

13:40 くらしの足概論&ディスカッション

15:40 グループディスカッション

17:40 懇親会

19:30 終了

・10月28日（日）

9:00 開場・受付開始

9:30 趣旨説明・ショートスピーチ

9:50 基調講演

11:30 取り組み紹介（ポスターセッション）のPRタイム

12:10 取り組み紹介（ポスターセッション）

14:50 白熱討論

16:30 閉会



本音で語り合おう、知り合おう、そしておでかけを楽しくしよう！

くらしの足を みんなで考える 全国フォーラム 2018

くらしの足に関する取り組みの

ポスター発表も募集中！

※発表申込〆切 9月末日

日時 2018年 10月 27日 **土**・28日 **日**

場所 東洋大学白山キャンパス

(東京都文京区白山 5-28-20)

参加費 3,000円 (1日・両日参加共)

※当日会場でお支払いください

参加申込〆切

10/19



主催 くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会 [実行委員長 岡村敏之 (東洋大学教授)、副実行委員長 加藤博和 (名古屋大学教授)]

共催 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

後援 国土交通省、厚生労働省、(社福) 全国社会福祉協議会、東洋大学国際共生社会研究センター、
名古屋大学大学院環境学研究所附属持続的共発展教育研究センター、(一社) 日本民営鉄道協会、(公社) 日本バス協会、
(一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社) 全国個人タクシー協会、(一社) 全国子育てタクシー協会、(一財) 全国福祉輸送サービス協会、
全国交通運輸労働組合総連合、日本私鉄労働組合総連合会、全国自動車交通労働組合連合会、(特非) 市民福祉団体全国協議会、
(特非) DPI 日本会議、(特非) 全国移動サービスネットワーク (申請中含む)

協力 東洋大学 メディアパートナー (株) 東京交通新聞社 (TEL : 03-3352-2181)

くらしの足をみんなで考える全国フォーラムとは？

少子高齢化が進む中で、日常の通院や買い物等に困難を抱える人々が全国で増え続けています。このくらしの足の問題を解決するために、当事者、行政職員、研究者、バス・タクシー事業者、福祉・介護・医療の従事者、NPOなど、多くの関係者が集まり、地域を越え、立場を越え、利用者、生活者の目線をベースとして本音で語り合い、お互いを知り合い、それぞれが抱える問題解決のヒントを得る「気づき」の場として、本フォーラムを開催します。



プログラム（予定）

10/27（土）

12:30 開場・受付開始

13:30 趣旨・進行説明

13:40 くらしの足 概論&ディスカッション

基調講演 土井勉（大阪大学COデザインセンター特任教授）

「誰がつくる？外出の拡大。」

『生活を支える交通』から『楽しみの交通』へ」

外出の目的は通院だけではないはず。年をとっても楽しいおでかけを諦めないための交通まちづくり、それぞれの現場から考えます。

ディスカッション

・土井勉（同上）

・服部真治（医療経済研究機構 研究員）

・篠塚恭一（日本トラベルヘルパー協会 理事長）

コーディネーター 及川孝

（フタバタクシー 社長・全国子育てタクシー協会相談役）

15:40 グループディスカッション

グループに分かれて、くらしの足に関する悩みや課題を共有し、解決のヒントをみんなで議論する時間です

17:40 懇親会

事前申込制となります。フォーラム参加と合わせてお申込みください。

（会費 3,000円）

19:30 1日目終了

10/28（日）

9:00 開場・受付開始

9:30 趣旨説明・ショートスピーチ

9:50 基調講演

「ITは『くらしの足』を救う？」

登壇者（調整中）学識経験者、自治体関係者、交通事業者

コーディネーター 加藤博和（名古屋大学教授）

伊藤昌毅（東京大学助教）

11:30 取り組み紹介（ポスターセッション）のPRタイム

12:10 取り組み紹介（ポスターセッション）

14:50 白熱討論

「楽しみのための生活交通をどう創っていくか」

「行かなければならない外出」だけではない移動とは？高齢者の免許返納なども念頭におきつつ、それぞれの立場から語ります。

登壇者（調整中）学識経験者、自治体関係者、交通事業者

コーディネーター 岡村敏之（東洋大学教授）

16:30 閉会



ポスター発表募集中！（9月末〆切）

くらしの足に関する取り組みを、「取り組み紹介（ポスターセッション）」の時間に、全国からの参加者と共有しませんか？詳細と発表申込は、WEBの特設ページをご確認ください！

◆テーマ例（参考）

「住民が担う地域交通」「自治体・事業者の先進的取り組み」「パーソナルモビリティとくらしの足」「くらしの足の担い手育成・中間支援」「情報ツール・製品・サービスの紹介」

参加・ポスター発表の申込はこちら！

「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」WEB サイト

<https://zenkokuforum.jimdo.com/>



※WEB 上からのお申し込みができない場合は、下記メールアドレスへお問い合わせください。

お問い合わせ

くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2018 実行委員会事務局

メール：info@kurasinoasi.com

WEB：https://zenkokuforum.jimdo.com/

住所：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学岡村研究室内

アクセス

東洋大学白山キャンパス

（東京都文京区白山5-28-20）



- 都営地下鉄三田線「白山」駅
A3 出口から「正門」徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線「千石」駅
A1 出口から「正門」徒歩 7 分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅
1 番出口から「正門」徒歩 5 分
- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅
1 番出口から「正門」徒歩 15 分
- JR 山手線「巣鴨」駅
南口から「正門」徒歩 20 分
- 都営バス「東洋大学前」下車 正門すぐ
（草 63 系統：池袋駅～浅草町町）

< 掲 示 板 >

☆ 地域公共交通支援センター

公共交通政策部では、市町村をはじめとする各地域の関係者が、地域公共交通の確保・維持に取り組む際に有効に活用いただくため、全国各地における様々な先進事例（約300事例）を蓄積している「地域公共交通支援センター」を運用しております。

「地域公共交通支援センター」は、地域、人口、交通モード等により、先進事例を検索することも可能となっております。是非ご活用下さい。

<地域公共交通支援センター> <http://koutsu-shien-center.jp/index.html>

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」（以下「キャラクター」という。）は、公共交通の利用促進について、より効果的な広報・啓発を行うことを目的としております。

キャラクターの使用を希望される場合、地方運輸局交通政策部交通企画課までお問い合わせ下さい。申請手続きについてご案内致します。

なお、「地域公共交通支援センター」においても、キャラクターの申請手続き、使用方法、FAQをご案内しております。

公共交通利用促進キャラクター のりたろう



大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。

駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

- ・移動手段は「ネコ足歩行」
- ・自由に移動できるが、疲れてしまうので100歩ごとに休憩が必要
- ・乗車可能人数は運転士（のりたろう本人）を含めて1名のみ！

読者の皆様からのご要望や全国に共有したい情報等がございましたら、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 石橋

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3（中央合同庁舎3号館3階）

TEL：03-5253-8275（直通）

FAX：03-5253-1513

E-mail: koutsukeikaku_joho@mlit.go.jp

★国土交通省HP（情報発信のページ）

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html

